

国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局

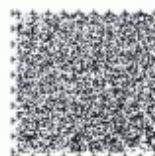
神戸視力障害センター

第54号

〈発行〉

平成22年8月20日

# センターだより



〈発行〉 国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局 神戸視力障害センター  
神戸市西区曙町1070 電話 (078)923-4670 FAX (078)928-4122  
URL : <http://www.kobe-nhb.go.jp/> E-mail : [syomu@kobe-nhb.go.jp](mailto:syomu@kobe-nhb.go.jp)



平成22年度  
理療教育

入所式



平成22年度の理療教育入所式が満開の桜の下、4月7日に行われました。

神戸視力障害センターに入所された皆様、入所おめでとうございます。職員一同心より歓迎いたします。

さて、本日入所式を迎えられた17名の皆さんは、年齢も10代から50歳代までと非常に幅広く、また障害に至った原因も様々です。

皆さんは当センターへの入所を決断されるまでには大変なご苦労や人には言い尽くせないような思いがあったのではないかと推察いたします。しかし、皆さんはそれを乗り越えて一つの区切りをつけ、新たな道に踏み出されました。このことに多大の敬意を表したいと思います。

これから3年間にわたる理療教育における教育訓練が始まるわけですが、これは国家試験受験のため必要な課程です。今までにやったことのない分野など習得には大変な努力が必要になるとと思いますが、是非頑張ってください。

本年2月に行われた国家試験の結果、本センターの

現役生につきましては、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師18名中17名合格という高い合格率を示すことができました。立派な成績で大変勇気づけられます。これはひとえにご本人の努力のたまもので、やれば出来るという結果でもあります。

一方、最近の社会経済状況をみますと、厳しい状況が続いています。しかしこのような時だからこそ国家資格を身に付け、高齢社会を迎えた社会において人々の健康、保健福祉の分野に携わることができることは、意義のあることと言えるのではないのでしょうか。

3年間の勉強はたやすいものではありません、挫折しそうな気持ちになった時は、今日の初心を忘れずに、勉強に励んで欲しいと思います。





# 新規利用者の声

今年度より当センターの利用を開始された方々から一言

期待と不安を胸に、センターに入所して、早3ヶ月がたちました。全く知識のない分野の勉強に最初は戸感いましたが、次第に慣れ、心に余裕も生まれ、今では日々を楽しく過ごしています。ここでの3年間の日々と、人とのふれあいを大切に、目標に向かい頑張りたいと思います。

寮の環境が思ったより快適で、安心して生活や勉強ができます。資格取得に向けて頑張ります。

鍼やあんまがなかなか難しく奥の深い世界だと知りました。まずは進級目指して頑張ります。



理療教育の授業風景

これまでの人生から一転して三療師の道を目指す決意をし、神戸センターに入所して早3ヶ月が過ぎました。日々丁寧なご指導のもと、勉強させていただき感謝しております。初心忘れるべからずで頑張っていきたいと思いますので宜しくお願いします。

「希望」 私は今年新たにスタートされた「国立施設の組織再編の第1号の神戸センター」のピカピカの1年生です。山あり谷ありの人生ばかりですが、常に心していることは（己の指針）

1. 人生学ぶことの大切さ。
2. 常に常に感謝を忘れない。
3. 自然の法則には勝てない。
4. 時には己を見つめる。
5. 人間生きていくテーマは「希望である」。

等々です。生活訓練から専門課程に進むことができ、3年間国家資格合格を目指し、希望を持って一日一日を大切にいろんなことを学んでいきたいと思っています。さあ、3年間の新たな「人生修業のスタート」がんばります。

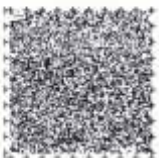
通所で訓練を受けています。毎回、興味深く学習させていただいています。今後ともよろしくおねがいします。



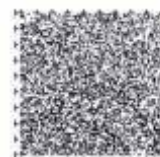
生活訓練の訓練風景

センターに来ることが楽しみです。1人でできることも増え、すごくハッピーです。

センターで習ったことをいかして輝いて生きていきたいです。



## 平成21年度 理療教育 あはき国家試験結果



		高等課程	専門課程	再理療
あん摩 マッサージ 指圧師	受験者数	1	3	1
	合格者数	1	3	0
はり師	受験者数	2	5	—
	合格者数	2	5	—
きゅう師	受験者数	2	5	—
	合格者数	2	4	—



### 平成21年あはき国家試験を終えて……

現役生の合格率は、昨年（89%）と同様に94%と好成績でした。これは全国の合格率（あ85%、は75%、き74%）と比べても上位に入っており、受験生の努力の成果が現れた結果といえます。

苦手科目を克服するために個別補習に積極的に取り組み、全聾・高齢・音声教材など、学習手段の制約を克服しての結果となっています。

## 平成21年度 理療教育卒業生・修了生の進路状況

平成21年度の卒業・修了者は、高等課程3年1名、高等課程5年2名、専門課程3年5名、再理療教育1名の計9名で、進路については右記のとおりです。

注1. 各欄上段は男子、  
下段は女子

2. 「その他」内訳

高3＝研修コース利用予定

専3＝再理療教育利用予定

研修＝受験準備

	高3	高5	専3	再理	合計
開業					0
					0
治療院就職		2			2
					0
病院就職					0
					0
訪問マッサージ			3		3
					0
老健施設など			1		1
					0
進学					0
					0
研修クラスへの再入所					0
					0
その他	1				1
			1	1	2
小計	1	2	3	0	6
	0	0	2	1	3
合計	1	2	5	1	9

H22.5.13 現在

## 平成21年度 生活訓練修了者の進路状況

家庭復帰	就労継続 (現職復帰)	進学 (理療教育)	生活訓練継続	中途解約	計
13	1	4	5	0	23





# 余 暇 活 動 支 援

## 福岡視力障害センターとのスポーツ・文化交流会

平成22年7月15日（木）、16日（金）の2日間、当センターにて福岡視力障害センターとのスポーツ・文化交流会が開催されました。

15日は全国的な豪雨のため、福岡センター参加者の乗る新幹線が大幅に遅れ、予定していた試合2種目（ゴールボール、サウンドテーブルテニス）が残念ながら実施できませんでした。しかしその分、15日夕方からの懇親会と16日のフロアバレーの試合は大変な盛り上がりを見せます。

まず懇親会では、和気あいあいとカラオケや茶菓を楽しみ、神戸センターの太鼓演奏、福岡センターのコーラスなど得意の出し物で大いに交流を深めました。

そして16日のフロアバレーでは手に汗握る熱戦が繰り広げられます。

第1セット、神戸センターチームは開幕からリードされるものの中盤から盛り返し、25対22と僅差ながらこのセットを勝ち取ります。この時点で、既定の総ゲーム時間（1時間）のうち50分近くを使ったことから両チームの実力が拮抗していることがうかがえます。そして第2セット、残り10分少々 of 戦いです。福岡センターは、このセットを時間内に4点差以上リードして終われば得失点差で逆転勝利となるため、怒涛の勢いで攻め立てます。しかし神戸センターも好プレーの連続でこれに食い下がり、第2セットは6対6の時間切れ引き分けとなりました。

フロアバレーについては、去年に続いて僅差での神戸センターの勝利となり、1種目のみの実施であったためスポーツ大会の総合優勝も神戸センターとなりました。

閉会式では神戸センター千葉所長より総合優勝カップが神戸センター代表に手渡され、両センターの健闘を称え惜しみない拍手が湧きあがりました。また、利用者代表として、福岡センター山口さんから「大雨でどうなるかと思いましたが、交流会を実施できて本当に良かったです。フロアバレーは、3試合分の価値のある熱戦でした。ご協力頂いた神戸センターの方々には心からお礼を申し上げます」とのコメントを頂きました。最後に福岡センターのみなさんの乗ったバスを神戸センター一同でお見送りし、今年度の親善交流会は無事終了しました。

悪天候というトラブルはあったものの、それを乗り越えるため両センター利用者の方々が協力し合い素晴らしい交流会になったと感じました。



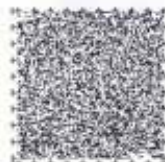
### クラブ活動紹介①

## サッカークラブ



休止状態だったブラインドサッカークラブが、平成22年度より1年生4名を中心に再開されましたので、その活動を紹介させていただきます。

ブラインドサッカーはフットサル（5人制のミニサッカー）を基に考案されたもので、アイマスクをしたプレイヤーが音源入りのボールを使って行います。週1回の練習は足裏でボールを扱う動作からドリブル、ドリブルシュート、ディフェンスなど基本的なものを中心に行っています。未経験者が多いため、ボールや自分の位置がわからなくなることも度々ですが、汗を一杯かきながら広いピッチを走り回っています。年度末には初体験となる対外試合も予定しており、チーム一丸となって初勝利を目指します。



の

ご

紹

介



## 六甲山牧場ハイキング



5月15日(土)、余暇活動支援として、六甲山牧場へのハイキングを実施しました。参加者は利用者11名、職員(実習生)8名でした。

9時にセンターバスで出発し、牧場には、10時過ぎに到着しました。自由行動で山道を散策しましたが、途中、羊や馬、牛などと自由に触れ合うことができました。

羊の餌やりのために柵内の自販機にお金を入れようとする、羊が察知すくりに回りに寄ってきます。鼻を近づけて舐めてきたり、足でけったりと大変でしたが、みなさん羊の身体に触れて楽しんでいました。

午後は目玉である「羊の追い込みショー」を見学しました。研修中の牧羊犬が指導員の指示のもと、羊の群れを右へ左へ誘導します。羊が途中で柵の外へ出てしまうというハプニングもありましたが、とても楽しめました。

集合時間直前まで、みなさん散策やお土産選びに余念がない様子でしたが時間どおりバスに集合し、15時頃無事センターに到着しました。

当センターでは引き続き、楽しい余暇活動を支援するため様々な企画を実施していきます。



## 盲導犬



## 講習会



6月23日(水)、当センター余暇活動支援の一環として、盲導犬講習会を実施しました。

兵庫盲導犬協会の訓練士と盲導犬をお招きして毎年実施している企画ですが、本年は訓練士3名に盲導犬3頭に来所していただき、利用者10名に講演と、盲導犬との歩行体験をさせていただきました。講演では、盲導犬の歴史や訓練にかかわる知識をクイズやユーモアを交えて教えていただきました。途中、盲導犬の食べるドッグフードや装着するハーネス、また犬種の違いによる撫で心地の違いなどを、実際に盲導犬や道具に触れさせてもらいながらの講演で、利用者にも好評でした。体験歩行では、利用者のほとんどが盲導犬初体験。訓練士にフォローしていただき、緊張しながらも楽しそうに歩かれていました。

大人しく賢い盲導犬に触れ、利用者みなさん大満足の講習会でした。





# センターからの

## 施設設備の状況

平成21年度には、数多くの改修整備を実施した中で主立ったものとして、次の3点を挙げます。

まず、1つ目として、宿舎棟内の廊下の照明器具をインバーター化し、さらには、常時点灯をしている非常誘導灯をLED化の整備をしました。このことにより、省エネやCO2削減への効果が期待できます。

2つ目は、宿舎棟内での自炊を希望される方が増えていることから、衛生面等を考慮して、各階に自炊専用部屋（自炊コーナー）の整備を行いました。

3つ目は、昨年流行した新型インフルエンザの教訓を生かし、トイレや食堂の手洗蛇口の自動水洗化に改修したことにより、同じく衛生面での環境整備を行いました。

これらの3点の改修以外にも、2011年7月からの地上デジタル放送化への切り替えを始めました。

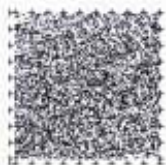
さらには、非常口のスロープ化及び渡り廊下の手すりの改修により、視覚障害者施設としての安全改修等の整備も行いました。



## センター行事予定

(2010年11月から2011年3月まで)

- |                        |                            |
|------------------------|----------------------------|
| 11月4日(木) 第2回模擬試験(あん摩)  | 29日(休) 利用者冬期休業             |
| 5日(金) 第2回模擬試験(はり・きゅう)  | (生活訓練課程1月3日まで)             |
| 10日(水) 第7回進路指導講座       | 1月11日(月) 授業・訓練開始           |
| 12日(金) 第2回総合避難訓練       | 13日(水) 第3回模擬試験(あん摩)        |
| 第5回臨床研修講座              | 14日(金) 第3回模擬試験(はり・きゅう)     |
| 29日(月) 後期中間試験(12月3日まで) | 下旬 生活訓練課程所外レクリエーション        |
| 12月3日(水) 障害者週間(9日まで)   | 2月8日(火) 後期期末試験(受験学年、10日まで) |
| 上旬 求人説明会               | 上旬 第2回職場開拓委員会              |
| 上旬 第6回臨床研修講座           | 15日(火) 理療教育募集締切            |
| 19日(土) 利用者冬期休業         | 16日(水) 後期期末試験(在学年、18日まで)   |
| (理・専門課程1月10日まで)        | 22日(火) 受験学年授業終了            |
| 25日(土) 利用者冬期休業         | 26日(土) あん摩マッサージ指圧師国家試験     |
| (理・高等課程1月10日まで)        | 27日(日) はり師・きゅう師国家試験        |
|                        | 3月1日(火) 卒業証書授与式            |
|                        | 4日(金) 終業式                  |
|                        | 5日(土) 利用者春期休業(理・専門課程)      |



# お知らせ



## センターの名称変更について

国立施設の組織再編に伴い、平成22年4月1日より国立神戸視力障害センターが、国立障害者リハビリテーションセンター自立支援局神戸視力障害センターに名称が変わりました。

あん摩マッサージ指圧師・はり師・きゅう師の資格取得を目指す就労移行支援（養成施設）、日常生活訓練をする自立訓練（機能訓練）と、訓練内容に変更はありません。

今後、新しい組織の下、より一層のサービス向上に努めてまいりますので、ご支援のほどよろしく  
お願い申し上げます。

## 人事異動

### 3月31日付

#### ◇ 退 職

渡部 隆一（教務課教官）

#### ◇ 再任用任期满了

西中 郷子（教務課教官）

### 4月1日付

#### ◇ 転 出

赤坂 浩（庶務課長）

→伊東重度障害者センター庶務課長

上 真紀子（庶務課会計係）

→国立障害者リハビリテーションセンター  
管理部総務課人事係

三浦 久美（指導課生活支援専門職）

→福岡視力障害センター支援課生活支援専門職  
（支援課機能訓練員併任）

西澤 伸之（教務課長）

→福岡視力障害センター教務課長

#### ◇ 転 入

井上 信弘（庶務課長）

←国立障害者リハビリテーションセンター  
研究所主任企画官

瀧野 清悟（支援課生活支援専門職）

←函館視力障害センター  
指導課生活支援専門職

浅井 邦夫（教務課長）

←国立障害者リハビリテーションセンター  
更生訓練所理療教育・就労支援部  
理療教育課主任教官

#### ◇ 内部異動

櫻谷 武史（庶務課主査）

←庶務課庶務係（庶務課会計係併任）



# 利用者募集

神戸視力障害センターの理療教育、ならびに生活訓練課程の利用者を募集します。

理療教育では、あん摩マッサージ指圧師、はり師、きゅう師の免許取得のための職業訓練を行います。免許取得後は、治療院のマッサージ師、企業のヘルスキーパーなどの就職や治療院の開業、進学などの進路があります。

生活訓練課程では、移動、コミュニケーション、日常生活に関する訓練などを行います。生活訓練課程の修了後の進路は、家庭復帰、職場復帰、職業訓練等です。生活訓練課程の後に理療教育を利用される方もあります。

訓練の利用を希望される方は、まず本センターに電話で御相談ください。見学、来所による相談も受け付けています。なお、申込み書類は、募集要項に様式等があります。募集要項は郵送またはホームページからのダウンロードによる印刷が可能です。

利用の相談以外でも、便利な道具についての相談や他の施設などの紹介もいたします。御希望の方にはパンフレットをお送りします。まずは、電話で御相談ください。

## 理療教育 【就労移行支援（養成施設）】

対 象	視覚障害の身体障害者手帳が交付されている高卒以上の方
募集人員	30名（あん摩マッサージ指圧、はり、きゅう科専門課程）
利用開始	4月
利用期間	3年間
利用方法	通所または宿舎入寮（宿舎は休日も利用できます。）
費 用	自立支援法に基づく利用料。市区町村で決定。
審 査 等	10月から書類申込み受付開始。書類審査を経て、3月に「来所による審査」。審査に合格後、市区町村から「障害福祉サービス受給者証」の交付を受けます。
日 課	平日の8時50分からホームルーム。9時から授業。1時限が45分間、10分間休憩で、ほぼ毎日6時限（～8時限）。昼休みは12時30分から13時30分。（6時限の日の授業は15時10分まで）

## 生活訓練課程 【自立訓練（機能訓練）】

対 象	視覚障害の身体障害者手帳が交付されている15才以上の方
訓練内容	歩行、パソコン、点字、ロービジョン、調理、体育、陶芸、レクリエーションなど
利用期間	個人に応じる。
利用方法	入寮、通所、訪問訓練
※ 申込み、利用開始時期は随時	

## 連絡先 神戸視力障害センター 支援課

【電 話】078-923-4670 【FAX】078-928-4122

【Eメール】sidou@kobe-nhb.go.jp

【ホームページ】<http://www.kobe-nhb.go.jp/>

【交通アクセス】JR明石駅から神姫バス利用（南3番バス停。西神中央駅行き）で約15分、吉田バス停から徒歩約3分（バス進行方向に直進、交差点を渡り左折、右側にセンター正門）

